



(名古屋まつり)



「救急医療」

国家公務員共済組合連合会 名城病院長

早川哲夫

いつ急病やけがで医療の助けが必要になるかも知れない。安心して生活するためには、国内的には、消防、警察などとともに医療も24時間体制であって欲しい。いつでも対応できるよう整備することは国の責任である。そのためには国民は、これらを重視する政治家を選び、自分は勿論、家族や地域社会を守るように心がける必要がある。

名城病院も他の医療機関と協力して、地域社会の救急医療の一部を分担している。他の救急を担当している病院同様医師は、自分の専門診療科とは関係なく、順番に救急当番が回って来て、当直医となるのが実状である。残念なことに、日本には救急専門医が不足している。消防や警察は名古屋市にふさわしい24時間体制である。しかし、どの病院も村の消防団と同じで、火事で出動すれば、昼間なら本業は開店休業、夜なら翌日の昼は不眠不休で本業に励むのが実状である。

名城病院は、救急対応の病気を心臓病とその他に分けて、心臓病は循環器専門の内科医か外科医が担当し、脳卒中をはじめ他の病気はもう一人の当直医が診察し、必要に応じて脳外科医など専門医が

応援する体制である。

医療崩壊が心配される中、名古屋地域は関係者の努力により大きな支障もなく救急医療を維持できている。名城病院では救急搬送患者の30%が入院治療を受けている。軽症患者のコンビニ受診の弊害もあるが、重症患者の役に立っている割合は、他の地域より大きいと信じている。

日本国民が自覚していないのは残念だが、日本の医療は、WHOの評価では、医療費は最低にもかかわらず、最高レベルの医療を提供している。国際社会では、いつでも、どこでも、安くて良い医療を望むのは非常識といわれている。三つのうち、望めるのは二つまでである。

8月末の報道によれば、新型インフルエンザのワクチンの必要量は5,300万人分、国内の供給可能量はせいぜい1,700万人分で、3分の1以下である。そこで舛添厚生労働大臣はワクチン輸入を試みたが、外国メーカーはワクチンを日本に販売するのは危険だから交渉は進まない。日本以外の世界では、副作用が起きた際、故意でなければメーカーの責任は問わないで、公的に補償する国がほとんどである。青天井の賠償の危険をおかすメーカーは世界にはない。大臣の

英断により責任の不問と公的補償を決めたとのことである。日本人も世界の常識を知らないと、危険の中に国民が放置されてしまう。

8月2日には、ジャーナリストのジオン氏がニューヨークで亡くなった。1984年娘さんが薬の副作用で死亡した事件の実情を調査し、入院先の研修医を中心とする若手医師は、36時間ほとんど不眠不休で勤務する過酷な労働の日常を記事にし、その改善を裁判所に説得した。その結果、週80時間以内、連続勤務は24時間までの規制を実現させた。日本の報道は、ニュース性だけを取り上げて終わることが多い。事故防止につながる分析や対策に至らないのは残念である。この点でジオン氏は米国社会から高く評価されていた。持続可能な安心できる社会の実現のためには、良識のある国民、政治家、ジャーナリストをはじめ多くの人達の協力がないと困難なことを実感させる。

皆さんがこれを読む頃には「安心できる社会」への一歩に役立つ一票であったと思えることを期待しています。名城病院は皆さんの協力を得て、良い医療を安全確実に提供したいと願っております。よろしくお願い致します。

産婦人科

子宮頸がんとは？ヒトパピローマウイルス

子宮がんというと子宮頸がん、子宮体がんの2つを混同しがちです。しかしその発症には、子宮頸がんにはウイルスが関与、子宮体がんには女性ホルモンが影響、と全く異なる病気であることをご存じでしたか。そのうちの子宮頸がんは、子宮の入り口、子宮頸部に発症するがんで、日本では年間約12,000人発症、約2,400人が死亡しています。

発症は、30歳～40歳代が多いのですが、最近20歳～30歳代前半の若者も増えてきました。(子宮がん検診も20歳からに拡大)。その子宮頸がんの発症に深く関わるのがヒトパピローマウイルス(HPV)です。HPVはイボを

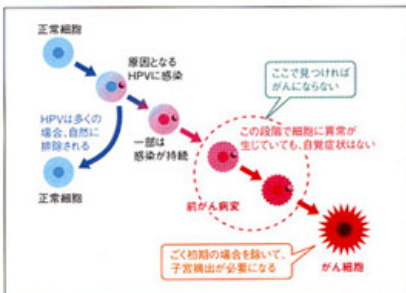
作るありふれたウイルスで、誰にでも体のどこにでも存在し、それが性行為により腔内に感染することはごくありふれた現象です。なので決して性病ではありません。通常そのほとんどがすぐ治癒します。ところがときに長期間感染が持続することがあり、その一部が異形成(前がん病変)、さらにその一部ががんへ移行することがわかってきました。

この持続感染を引き起こすのは多種類のHPVの中でも一部のハイリスクタイプです。このハイリスクタイプに対して有効なワクチンが開発され海外では使用が始まっています(日本では申請中)。しかしワクチンは予防効果のみで、まだ感染していない女性、まずは性経験のない小、中学生が対象です。では、すでにHPVにさらされている大多数の大人の女性達はどうかしたら良いのでしょうか。ハ

子宮頸がんは予防できるがん

- ✓原因、リスクファクターがわかっている⇒発がん性HPV
- ✓前がん病変(異形成)が存在⇒早期発見が可能
- ✓有効な検査法が確立している⇒細胞診、HPV検査
- ✓予防ワクチンの臨床への登場

イリスクタイプHPVに感染しているかどうかを確認(自費の検査)し、陰性であればワクチンが有効といえます。(まだワクチンは申請中で使用不可)。陽性の場合にはワクチンは意味がありません。ただし、ここで念を押したいことは、ハイリスクHPVの感染が即100%がんとなるわけではないことです。なぜだかハイリスクタイプHPVの感染が長期間続いてしまい、そのため子宮頸部の細胞が異形成を示してがん化するまでの期間は数年から十数年とされています。定期的な子宮頸がん検診により早期発見が可能。面倒だから恥ずかしいからとためらわず、積極的に検診を受けて下さい。



産婦人科 近藤 育代

ラボセンター

シミュレーション・ラボセンター出張講習会

9月17日(木)・18日(金)の2日間にわたり、国家公務員共済組合連合会シミュレーション・ラボセンターの「出張シミュレーション講習会in名城病院」が開催されました。今年で4年目を迎えるラボセンターは、新人研修医研修や医療安全管理者研修、また今回開催されたAHA-BLS(アメリカ心臓協会の一次救急救命処置)やオリジナル研修の人工呼吸器ト

ラブルシューティング・透視時患者対応研修・患者急変対応研修など、年間約2,000人も受講者を誇る研修センターです。

北海道・九州に続き、近畿・東海地区で初めての開催でもあり、同地区の国家公務員共済組合連合会病院からの参加も含め、延べ52名の受講となりました。

医師や看護師、臨床工学技士や検査技師などの職種を越えてのチームによるシミュレーター人形でのデモンストレーション研修は、「リアルに脈も触れるし、胸も上がっているのですごいなと思った」「自己の振り返りをするのができ

た」「人形を使ってトラブルシューティングを繰り返すことが大切であると思う」「スキルアップしていきたい」などの感想が多く、好評のうちに終了しました。

今回の講習会で学んだことが受講生それぞれの職場で活かされ、患者さんの病状悪化を早期発見・早期処置で予防していけるように、今後もこのような講習会を開催できるとよいと思います。

最後に、インストラクターのみなさんありがとうございました。

また、受講生のみなさん、お疲れさまでした。



病棟紹介



9階病棟は、内科と皮膚科の混合病棟になります。

内科は主に消化器疾患の患者さんが多く入院されています。内視鏡による検査や治療を受けられる方が多く、早期がんや胆管結石に対する内視鏡治療を行っています。また、消化管出血に対しては、24時間体制で対応しています。その他に慢性肝炎の治療や消化器がんの診断・治療を行っています。がんに対する抗がん剤治療や痛みの緩和を行い、できる限り生活の質を維持できるように努めています。皮膚科は、膠原病、水疱症、アレルギー性皮膚疾患、皮膚感染症等の疾患を主に診断・治療しています。病状に応じて入院して点滴治療や軟膏塗布などの処置を行います。私達看護師は、こうした治療を受けられる患者さんたちのために、治療が円滑に進められるように、安全・安楽な看護を目指し、安心して入院生活を送られるように日々心がけています。

まず、医師やコメディカルとの連携を大切にし、患者さんにとってどんなケアが必要であるか話し合い、援助を行っています。そのためには患者さんとのコミュニケーションが大切になります。患者さんとのお話を通してさまざまなヒントを頂き、より良い援助へと繋げることができます。また、科学的根拠を持って看護を行えるよう勉強会などの学習の場を設けています。

9階病棟は、これからもチームワークを大切にし、それぞれの個性や経験・知識を活かしより良い看護が提供できるように努力していきたいと思えます。

9階病棟師長 大河内なお子

NEWS

名城病院にミッキーがやってきました！

8月6日東京ディズニーリゾートからアンバサダー（親善大使）の岡本真希子さんとミッキーマウス、ミニーマウスが入院中の子供たちを励ますために名城病院を訪れました。

ミッキーとミニーマウスが病室へ入ってくると待ち構えていた子供たちは大喜び。子供たちと鼻と鼻を合わせてあいさつをし一人ひとりと握手をして記念撮影をしました。そしてアンバサダーの岡本さんがミッキーとお友達の印しのファンカードをプレゼントしました。

病室の子供たちは、「訪問を聞いたけど、病室にくるまで信じられなかった。」「会いに来てくれてありがとう」などと喜びを伝えていました。また、ギブスにミッキーの似顔絵を描いて待っていた子もいました。

ありがとう ミッキー！

企画課 大庭文秋



救急救命士の病院実習にご協力をお願いします。

平成21年11月2日(月)～12月1日(火)まで、当院において、救急救命士による、確かな知識・技術を習得、維持、向上させるための病院実習を実施しております。みなさまのご理解とご協力をお願いします。なお、実習の概要は、以下のとおりです。

- 1 実習者は、救急救命士の資格を有しています。
- 2 実習者は、事前に十分な教育訓練を受けております。
- 3 実習は、観察能力、安全・清潔管理能力、生命の危機的状況への対応能力等の向上のための見学、介助、静脈路確保、薬剤投与、気管挿管などを行います。
- 4 実習は、医師の厳重な指導と管理のもとに実施され、患者様の安全は確保されています。
- 5 実習に際して、安全な実習の遂行ができないと医師が判断した場合には、即座に当該実習を中止します。
- 6 患者様が実習を拒否しても、その後の治療及び処置に不利益が生じることは一切ありません。



病 院 長
名古屋市消防局

2009年9月10日(木曜日)
中日新聞「県内版」掲載

News 救急医療功労で 当院含め 17人 5 団体表彰



救急医療功労で 17人5団体表彰 県推進大会

「救急の日」にちなみ、県救急医療推進大会が9日、名古屋市中区の県医師会館で開かれた。

県や県医師会、県外科医会の主催。救急医療に功労のあった十七人や五団体が知事表彰を受けたほか、新型インフルエンザ対策についての講演もあった。

◇表彰を受けた皆さん
【救急医療功労者】青山隆、稲坂博、大西正純、岡山政由、杉田洋一、鈴木剛、田中潤一、村島博、田真佐男、村松澄之、吉田衛、県厚生農業協同組合連合会足助病院、医療法人光生会病院、常滑市民病院、名古屋セントラル病院、国家公務員共済組合連合会名城病院【救急業務功労者】神谷重康、北川浩、高橋和久、松原浩一、宮家美博、安川和宏

ご意見箱 皆様からお寄せ頂いた貴重なご意見につきまして、お答えさせていただきます。

ご意見 職員の皆様の対応がよくて気持ちがいいです。今日は病気のことで落ち込みましたが、計算受付の「お大事にしてください」との笑顔に救われました。ありがとうございました。辛い治療もこの病院で頑張れそうです。

ご答え こういった投書が日々頂けるように、日々意識した心がけ・対応を行っていきたくと考えます。また、スタッフ全員がそのような接遇が出来るよう伝えていきたくと思います。

ご意見 いつも病院に来て車椅子を利用させて頂いているが、故障している物が含まれています。充分点検して下さい、安心して利用できるよう整備の方をお願い致します。

ご答え 現在、定期的に点検を行っておりますが、期間を短縮し、不具合のある物を早期に発見し、対処していきます。

貴重なご意見有難うございました。今後も皆様方のご期待に添えるよう工夫、努力していきます。よろしくお願いたします。

編集

後記

両親は、共に八十歳を超えましたが、一病息災、お陰様で元気に(?)しています。母は若い頃から持病があり、循環器科に通っていますが…これといった持病の無い父が、6年前の秋に心筋梗塞で救急搬送されました。この時、車内で活躍されたのが救急救命士の方々です。お世話になりました。当院では、今秋より、救急救命士の現任病院実習を受け入れます。実習生の方々が、各部署に伺った折はよろしくお願いたします。親切にしてあげてくださいね。

松重まり子

名城病院診療等のご案内 <http://www.meijohosp.jp>

- 診療科目**
- 内科・循環器科・小児科(小児循環器)
 - 外科・整形外科・脳神経外科・心臓血管外科
 - 皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科
 - 歯科口腔外科・神経内科

- 診察受付時間**
- 【新患受付】 午前 8:30 ~ 11:30 まで
 - 【再来受付】 午前 8:00 ~ 11:30 まで
- 面会時間**
- 【一般】 午後 0:30 ~ 8:00 まで
 - 【新生児】 午後 0:30 ~ 8:00 まで (授乳時間を除く)
 - 【ICU】 午後 0:30 ~ 4:30 まで
 - 午後 5:00 ~ 8:00 まで
- ※生花の病室への持込は、感染予防のためご遠慮願います。

診療案内

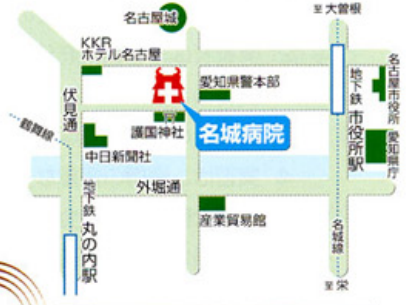
【休診日】 土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月29日~1月3日)
創立記念日(11月6日)

所在地

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1
TEL <052> 201-5311 FAX <052> 201-5318

お問い合わせは、
・ 午後の診療等、詳しくは、医事課まで(内線 2132)
・ 医療福祉に関しては、医療福祉相談室まで(内線 5105)

医療機関の方へ
・ 病診連携に関しては、病診連携室まで(内線 2151)



名城病院は、病院機能評価の認定を受け、よりよい医療を提供できるよう努力しています。